

2020年9月期全塾協議会定例会議事録

2023年12月24日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2020年9月30日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

| | |
|----|------------------------|
| 名称 | 2020年9月期全塾協議会定例会 |
| 場所 | オンライン |
| 日時 | 2020年9月30日 18:30～20:45 |

出席者

| | | |
|---------|----------------------|-------|
| | 塾生代表 | 後藤圭祐 |
| 上部団体 | 文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長 | 芹沢幸輝 |
| | 体育会本部 主幹 | 保野陽 |
| | 全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長 | 吉田凌太 |
| | 全塾ゼミナール委員会 | 欠席 |
| | 四谷自治会 会長 | 保住英希 |
| | 芝学友会 会長 | 福井一玄 |
| | 福利厚生機関本部 代表 | 梅山晃弘 |
| | 全塾協議会事務局 事務局長 | 岩館則明 |
| | 全塾協議会事務局より他4名 | |
| 以下議案提出者 | 三田祭実行委員会 委員長 | 柴田健一 |
| | 三田祭実行委員会 財務局長 | 高橋史 |
| | 矢上祭実行委員会 委員長 | 鈴木隆文 |
| | 矢上祭実行委員会 財務 | 岡田すみれ |
| | 卒業アルバム委員会 委員長 | 永井幸輝 |
| | 卒業アルバム委員会 財務局長 | 青木満智子 |
| | 慶援指導部 チアリーダー部会計 | 池柚希 |
| | 慶援指導部 定演会計 | 坂部安純 |
| | 慶援指導部 会計 | 鈴木晴佳 |
| | 慶援指導部 | 一同 |
| | 文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長 | 芹沢幸輝 |
| | 湘南自治会準備会 代表 | 石井柊 |

次第

| 項目 | 担当・議案提出者 |
|--|-------------------------------------|
| 1. 開会（開会宣言、塾生代表挨拶） | 事務局長 岩館則明 塾生代表 後藤圭祐 |
| 2. 議事確認（定足数、配布資料、議長、前回議事録） | |
| 3. 議事 | |
| (1) 塾生代表 業務報告 [20200930-01-JSD] | 塾生代表 後藤圭祐 |
| (2) 全塾協議会事務局 業務報告 [20200930-02-JMK] | |
| i. 総務政策部報告 | 総務部長 関田大輝 |
| ii. 財務部報告 | 財務部長 関田大輝 |
| iii. 議事部報告 | 議事部長 在原拓哉 |
| iv. 広報部報告 | 事務局長 岩館則明 |
| v. 事務局長報告 | 事務局長 岩館則明 |
| (3) 三田祭実行委員会 クラウドファンディングの利用に関する議案 [20200930-03-MTI-1] | 三田祭実行委員会 委員長 柴田健一 財務局長 高橋史 |
| (4) 三田祭実行委員会 独自財源特別支出承認申請 [20200930-04-MTI-2] | 三田祭実行委員会 委員長 柴田健一 財務局長 高橋史 |
| (5) 矢上祭実行委員会 独自財源特別支出承認申請 [20200930-05-YGM] | 矢上祭実行委員会 委員長 鈴木隆文 財務 岡田すみれ |
| (6) 卒業アルバム委員会 独自財源特別支出承認申請 [20200930-06-SAI] | 卒業アルバム委員会 委員長 永井幸輝 財務局長 青木満智子 |
| (7) 應援指導部 独自財源特別支出承認申請 [20200930-07-OES-1] | 應援指導部 チアリーディング部会計 池柚希 |
| (8) 應援指導部 独自財源特別支出承認申請 [20200930-07-OES-2] | 應援指導部 定演会計 坂部安純 |
| (9) 應援指導部 独自財源特別支出承認申請 [20200930-07-OES-3] | 應援指導部 会計 鈴木晴佳 |
| (10) 應援指導部 活動報告 [20200930-08-OES] | 應援指導部 一同 |
| (11) 文化団体連盟三田本部常任委員会 活動報告 [20200930-09-BRH] | 文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長 芹沢幸輝 |
| (12) 湘南自治会準備会 活動報告 [20200930-10-SJK] | 湘南自治会準備会 代表 石井柊 |

| 項目 | 担当・議案提出者 |
|--|------------------|
| (13) 四谷自治会 選挙管理委員会に関する議案 [20200930-12-JSD] | 四谷自治会 会長 保住英希 |
| (14) 塾生代表 規約改正の発議 [20200930-12-JSD] | 塾生代表 後藤圭祐 |
| (15) 塾生代表 2020 年度全塾協議会予算案 [20200930-13-JSD] | 塾生代表 後藤圭祐 |
| 4. 連絡事項 | 事務局長 岩館則明 |
| 5. 閉会宣言 | 事務局長 岩館則明 |

議決事項

| 議案識別子 | 提出者 | 議事名 | 可否 |
|-------------------|-----------|--------------------------|------|
| 20200930-01-JSD | 塾生代表 | 塾生代表 業務報告 | 採決なし |
| 20200930-02-JMK | 全塾協議会事務局 | 事務局 業務報告 | 採決なし |
| 20200930-03-MTI-1 | 三田祭実行委員会 | クラウドファンディングの利用 に関する議案 | 可決 |
| 20200930-04-MTI-2 | 三田祭実行委員会 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-05-YGM | 矢上祭実行委員会 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-06-SAI | 卒業アルバム委員会 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-07-OES | 應援指導部 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-07-OES-1 | 應援指導部 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-07-OES-2 | 慶援指導部 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-07-OES-3 | 慶援指導部 | 独自財源特別支出承認申請 | 可決 |
| 20200930-08-OES | 慶援指導部 | 活動報告書 | 採決なし |
| 20200930-09-BRH | 文化団体連盟本部 | 活動報告 | 採決なし |
| 20200930-10-SJK | 湘南自治会準備会 | 活動報告 | 採決なし |
| 20200930-11-YJK | 四谷自治会 | 選挙管理委員会に関する議案 | 可決 |
| 20200930-12-JSD | 塾生代表 | 規約改正の発議 | 可決 |
| 20200930-13-JSD | 塾生代表 | 2020 年度全塾協議会予算案 | 可決 |

2023 年 12 月 24 日 議事録作成(役職役名ならびに条数は議会当時のものである。)

全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明

(署名)
全塾協議会規約第 22 条に基づき、事務局長
の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

| | | |
|----------|------|--|
| 塾生代表 | 後藤圭祐 | (署名) 全塾協議会規約第 22 条に基づき、塾生代表 の署名は省略する。 |
| 全塾協議会 議長 | 保住英希 | (署名) 2024 年 2 月 4 日付で議事録を真正なもの であると確認した。 |

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長の岩館則明が開会を宣言した。塾生代表の後藤圭祐が挨拶を行った。

2. 議事確認

事務局員 張容準による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。張が、すでに配布された資料の確認を行った。張は前回議事録について、。

事務局員 張容準が、全塾協議会規約第 10 条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致を以て四谷自治会会長の保住英希が議長に選任された。

3. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

リーダーズキャンプを行ったこと、オリエンテーション実行委員会と秋新歓を行ったことを報告した。四団体の予算配分を協議中。本日中に最終決定を行う予定であると述べた。

(2) 事務局からの業務報告

i. 総務政策部報告

リーダーズキャンプの内外部の調整、優勝準備委員会の交代の調整、事務局員名簿の作成、秋新歓でのサイト作成の運営を報告した。また、代表から提出された議会改革に関する協議を審議中であると述べた。

ii. 財務部報告

予算書類の確認と作業の催促、リーダーズキャンプに向けた準備と運営、8月の特別許可番号、全塾協議会の19年度決算と20年度予算の作成、10月1日に公開予定の監査報告書、交付額の決定報告書、決算書類の準備、自治会費交付金交付に向けた準備をしている旨を報告した。

iii. 議事部報告

議事部会において議事録作成状況を確認し、役割分担を行った。また、定例会の日程調整、式次第を作成した。9/28(月)に作業会を行い、1年生に団体名簿の更新、定例会の日程調整、式次第作成の方法の説明を行った。

iv. 広報部報告

広報部会において進捗確認、文連のあいさつ運動の修正原稿が完成し、確認のメールを送った。10月中旬に Web サイトの更新を行う予定である。その他、塾生代表や事務局紹介ページの更新を行う予定である。

v. 事務局長報告

本年度の自治会費交付金交付団体を対象に二次監査、8月中旬に行ったリーダーズキャンプにて監査報告を行い、当日の会議運営を行った。塾生代表・オリエンテーション実行委員会と協力して開催した秋期オリエンテーションのサイトを中心とした運営を行った。また、人事異動を行い、新入生を正式に配属、部長補佐を半分の署名で行った。

(3) 三田祭実行委員会 クラウドファンディングの利用に関する議案

三田祭実行委員会よりクラウドファンディングの利用に関する議案が上程され、担当者より説明があった。

担当者は次の通り説明した。

本事業は、次世代ライブに必要な資金を獲得する目的に行うクラウドファンディングである。本来、実際に動員する予算が10万円であるが、次世代ライブでは予算以上の金額が必要となった。資金収集方法として、レディーフォー、購入型、オールインの形式を検討している。また、本事業に賛同する企業からの募集も集う。企業のリターンとして、三田祭で使用する映像に名前を挙げることや三田祭グッズの送付を検討。10月1日～20日を募集期間として設け、リターンに関しては、募集終了の期間を想定している。

三田祭開催に向けて120万円程度での調整を考えており、集まらない場合は機材費用などを削る予定だ。また、議案提出後に決定した事項であるため議案資料への記載は無いが、企業を対象とした入金方法は、三田祭実行委員会の銀行口座に振り込みをしてもらうことを想定している。そして委員会の口座からクラウドファンディングの口座に入金し直す。手数料を引いた状態で再度入金される形式となっている。

事務局長 岩館は、クラウドファンディングはこれまで取られていない収入方法であり、一定のリスクがあると思うため、全塾協議会として議会の皆さんにも判断をお願いしたい、と意見した。

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、後藤圭祐は本決議を承認した。後藤は、リスクマネジメントの方だけきちんとお願いしますと述べた。

(4) 三田祭実行委員会 独自財源特別支出承認申請

三田祭実行委員会より独自財源特別承認申請が上程され、担当者より申請内容の説明があった。

前夜祭会計

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|---------|------|------------|--|--------|
| 1 | ¥30,000 | 事前 | 印刷費 | 三田祭前夜祭における装飾物やポスター作成の際に慶應義塾大学内のパソコンから出力する印刷費として。 | 10～11月 |
| 2 | ¥20,000 | 事前 | クリアファイル、色紙 | 広報宣伝企画において前夜祭への参加促進を目的に、参加者へ景品を渡すため。 | 10～11月 |

| | | | | | |
|---|----------|----|----------------|---|--------|
| 3 | ¥16,000 | 事前 | 色紙、メッセージカード、CD | 前夜祭演出企画において、出演者や参加者に景品を渡すため。 | 10～11月 |
| 4 | ¥400,000 | 事前 | 飲食物 | ゲスト及び業者用(約80名)のお弁当や軽食代として。 | 10～11月 |
| 5 | ¥2,940 | 事前 | レターパック、スマートレター | 三田祭前夜祭における、企画景品や三田祭パンフレットを郵送する際の郵送費として。 | 10～11月 |

本祭会計

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|----------|------|-------------------------------|--|--------|
| 1 | ¥300,000 | 事前 | レンタカー代、ガソリン代、駐車場代 | 三田祭期間前及び三田祭期間中の各種必要備品の移動(主に日吉・三田間)、音響サービスによる機材の搬入・搬出、音響サービス保有の2tトラック駐車場代、三田祭期間中に使用する備品等の借り入れ・返却等 | 10～11月 |
| 2 | ¥180,000 | 事前 | 駐車場代 | 三田祭の備品運搬のために借りるレンタカーの駐車場代として。 | 10～11月 |
| 3 | ¥626,000 | 事前 | お弁当代、飲料水代 | 三田祭期間中の委員、音響サービス員、業者の食事を賄うため。 | 11月 |
| 4 | ¥100,000 | 事前 | 飲食物 | 本部企画におけるミニゲーム演出に使用するため。 | 10～11月 |
| 5 | ¥18,000 | 事前 | バンダナ、光るブレスレット、フラワークラウン、フラワーレイ | 本部企画における演出上、出演者に必要備品を配布するため。 | 10～11月 |
| 6 | ¥8,500 | 事前 | 菓子折 | 広報宣伝企画において、インフルエンサーとして有名塾生を起用する際のお礼として菓子折りをお渡しするため。 | 10～11月 |
| 7 | ¥7,000 | 事前 | 色紙、チェキのフィルム | 1年生企画において、当該企画への参加促進を目的に、参加者へ景品を渡すため。 | 11月 |
| 8 | ¥23,140 | 事前 | レターパック、スマートレター | 1年生企画において、参加促進のための景品を郵送する際の郵送費として。 | 11～12月 |
| 9 | ¥3,240 | 事前 | 菓子折 | 1年生企画「教授対談」にご出演いただく教授へのお礼代として。 | 11～12月 |

| | | | | | |
|----|----------|----|------|------------------------------------|--------|
| 10 | ¥350,000 | 事前 | 御車代 | 三田祭実行委員会本部企画に出演して頂くゲストのお車代として。 | 10~12月 |
| 11 | ¥42,000 | 事前 | 駐車場代 | 三田祭実行委員会本部企画に出演して頂くゲスト送迎車の駐車場代として。 | 11月 |
| 12 | ¥178,880 | 事前 | 金太郎飴 | 三田祭にて販売する公式グッズ代として | 10月 |

前夜祭の会計について、掲示物の印刷費が 30,000 円の申請をしている。オンライン開催で必要ない可能性があるが念のため申請を行う流れになった。

また、他の費用として広報企画における景品代の 20,000 円、演出企画における景品代の 16,000 円、ゲストおよび関係業者の弁当代や軽食代、郵送費用は昨年と同額の申請を行った。演出企画の景品代について、出演者の事務所により支出項目が変更になる可能性があるため、変更次第その都度申請する予定である。備品輸送を行うための運搬費を 300,000 円申請した。飲食代の補足として、人数が未定であるため想定人数の中での最大で算出した。

事務局財務部長 関田は、飲食費についてコロナ対策を行いながらの開催において最大人数である 180 人分を申請し、一斉に飲食を行うことは大丈夫なのかと質問した。担当者は、一斉に食事を行うわけではなく、シフトの合間に食べる形になるため、集まって食べることにはならないと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

(5) 矢上祭実行委員会 独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自財源特別承認申請が上程され、担当者より申請内容の説明があった。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|----------|------|-----------------|--------------------------------|-------------|
| 1 | ¥6,000 | 事前 | 電車代 | 渉外活動、企画運営に必要な交通費として | 2020年10~12月 |
| 2 | ¥107,580 | 事後 | ソフトライセンス 購入費 | パンフレット作成のため | 2020年5月,8月 |
| 3 | ¥46,200 | 事後 | 依頼費 | 個人事業主に対するクイズ企画問題 作成の依頼費として | 2020年7月31日 |
| 4 | ¥29,353 | 事後 | 参加,入賞賞品代 | ミス・ミスターコンテストの参加,入 賞品の購入費として | 2020年9月 |
| 5 | ¥4,920 | 事後 | 電車代 | 渉外活動、企画運営に必要な交通費 として | 2020年8~9月 |

交通費は訪問企業が決まらないため昨年度を参考にしている旨、ライセンス費用、謎解き企画の依頼費用、ミス・ミスターコンテストの贈答品の費用を申請した、費用が足りない場合は、後日申請を検討している、と説明した。

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

(6) 卒業アルバム委員会 独自財源特別支出承認申請

卒業アルバム委員会より独自財源特別承認申請が上程され、担当者より申請内容の説明があった。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|---------|------|--------|-------------------------|------------------|
| 1 | ¥4,500 | 事前 | 電車代 | 2020 年度庭球部早慶戦(男子)取材のため | 2020 年 10 月 10 日 |
| 2 | ¥4,500 | 事前 | 電車代 | 2020 年度庭球部早慶戦(女子)取材のため | 2020 年 10 月 11 日 |
| 3 | ¥3,000 | 事前 | 電車代 | 2020 年度早慶バトミントン定期戦取材のため | 2020 年 10 月 31 日 |
| 4 | ¥12,467 | 事後 | レンタカー代 | 卒業アルバム機材搬入・申込書開封作業 | 2020 年 1 月 |
| 5 | ¥1,130 | 事後 | 昼食代 | 卒業アルバム機材搬入・申込書開封作業 | 2020 年 3 月 |
| 6 | ¥398 | 事後 | 電車代 | 2020 年度春季野球早慶戦取材のため | 2020 年 8 月 15 日 |
| 7 | ¥1,263 | 事後 | 昼食代 | 2020 年度春季野球早慶戦取材のため | 2020 年 8 月 15 日 |
| 8 | ¥1,060 | 事後 | 電車代 | ホッケー部撮影のため | 2020 年 8 月下旬 |
| 9 | ¥1,936 | 事後 | 昼食代 | ホッケー部撮影のため | 2020 年 8 月下旬 |

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

(7) 應援指導部 独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源特別承認申請が上程された。

まずはチアリーディング部会計代理の鈴木より、下記の申請について説明があった。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|----------|------|-----------|----------------------------|----------------|
| 1 | ¥190,200 | 事前 | 10 月分コーチ代 | 技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として | 2020 年 11 月 |
| 2 | ¥190,200 | 事前 | 11 月分コーチ代 | 技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として | 2020 年 12 月 |
| 3 | ¥95,100 | 事前 | 12 月分コーチ代 | 技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として | 2020 年 1 月 |
| 4 | ¥80,000 | 事前 | 撮影・編集費 | 本年度定期演奏会にて使用する動画の撮影・編集費として | 2020 年 10~11 月 |
| 5 | ¥7,256 | 事前 | 救急用品代 | 活動にて使用する救急用品の補充代として | 2020 年 10 月 |
| 6 | ¥1,756 | 事前 | 予備衣装代 | 応援活動にて使用する予備のストックキング代として | 2020 年 10 月 |

続いて定期演奏会 会計の坂部より下記の申請について説明があった。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|--|------|------|----|------|------|
|--|------|------|----|------|------|

| | | | | | |
|---|----------|----|--------|---------------------------------|--------------|
| 1 | ¥46,310 | 事前 | 電車代 | 定期演奏会エキストラにお支払いする交通費代として | 2020年10月～12月 |
| 2 | ¥35,000 | 事前 | レンタカー代 | 定期演奏会器材運搬に使用するレンタカー代として | 2020年12月 |
| 3 | ¥55,000 | 事前 | 昼食代 | 定期演奏会当日に関係者にお配りする昼食代 | 2020年12月 |
| 4 | ¥17,000 | 事前 | 出演料 | 定期演奏会出演者(司会者、エキストラ出演者)にお渡しする人件費 | 2020年12月 |
| 5 | ¥60,000 | 事前 | 写真撮影代 | 定期演奏会のカメラマンにお渡しする写真撮影代として | 2020年12月 |
| 6 | ¥6,000 | 事前 | 菓子折代 | 定期演奏会関係者にお渡しする菓子折代として | 2020年12月 |
| 7 | ¥12,000 | 事前 | お花代 | 定期演奏会関係者にお渡しするお花代として | 2020年12月 |
| 8 | ¥847,500 | 事前 | DVD代 | 部員に渡す定期演奏会DVD製作費として | 2020年12月 |
| 9 | ¥240,000 | 事前 | 写真DVD代 | 部員に渡す定期演奏会写真DVD製作費として | 2020年12月 |

最後に本部会計 鈴木より、下記の申請について説明があった。

| | 許可金額 | 申請時期 | 品名 | 支出理由 | 支出時期 |
|---|----------|------|------------------|----------------------------------|--------------|
| 1 | ¥117,480 | 事前 | 腕章と部員バッジ作成費 | 新入生用の部員腕章と部員バッジの作成のため | 2020年10月 |
| 2 | ¥37,500 | 事前 | 「六旗の下に」の関係者チケット代 | 「六旗の下に」がオンライン開催となり関係者チケット代が掛かるため | 2020年10月～11月 |
| 3 | ¥10,000 | 事前 | 応援の飲料水代 | 各種応援活動で応援指導部員用のスポーツドリンク | 2020年10月 |
| 4 | ¥10,000 | 事前 | 応援の氷代 | 各種応援活動で応援指導部員用の氷 | 2020年10月 |

バッジ製作費、関係者のチケット代、応援指導部員の氷と飲料代を申請。

事務局財務部長 関田より、定期演奏会の動画撮影と編集費用がチアから申請した理由はなぜか、と質問がなされ、鈴木より、動画についてはチアの人のみが映っているため、と回答があった。

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

(8) 応援指導部 活動報告

応援指導部より活動報告が上程され、議案資料の通り説明があった。まず担当者である長野より、秋季リーグ戦における応援方法について下記の通り説明があった。

コロナ対策を踏まえた新体制の応援とし、吹奏楽団とチアリーディング部主体での応援を検討した。塾旗に関しては吹奏楽団とチアで掲揚を行なった。限られた活動範囲のなかで、部として応援に貢献する

使命があると認識している。役割としては新しい応援の評価と、塾気掲揚の補助をはじめとした新しい応援方法が円滑で行われるような補助の役割がある。外野席での応援となり、風が強い場所になるので、人命にも関わる。また、旧リーダー部が補助する形になり、感染対策というところでもあるため、スタンド内での固定の位置での応援という形になっている。

次に慶援指導部 山本より、新型コロナウイルス感染対策に関する配慮と塾旗に関する下記の通り説明があった。

野球連盟として定めたこと、部として独自に定めた方針は資料の通りである。連盟からは、応援する場所、依頼事項についてであった。このご時世、お客様と一緒に空間は厳しいため、外野席の限られた場所で応援になった。また、メガホン禁止で拍手の催促は不可である。その他に関しては、学校からの指示に従っていることが記述されている。自主的な対策、ロードマップを段階的に策定しており、これに準じた活動を行なっている。

練習の形態について、二班体制での活動に旧リーダー部がそれぞれ一名つく形で行っている。本格的な掲揚練習も進んでいる。一部の部員が掲揚できる状態になっていて、掲揚できる部員も確保できている。ただ、今まで数年単位で行っていたものを数週間単位で行っているのも、不測の事態が起こる可能性が高いことも配慮していきたい。腰痛など、学生服ではなくスーツで掲揚することによる不具合も考えられるため配慮したい。実際の練習の資料の説明。球場に迷惑をかけることなどがあってはならないので、十分な補助人数を確保した状態で掲揚を行なっている。エール交換についても動画になっているので、確認をお願いしたい。

続いて、慶援指導部 菊池より、自主的な発信、塾生に対する姿勢について説明があった。先月の定例会と重複することもあるが、信頼回復のために、更生した姿勢を示していく。その手段として、二つの媒体を使って情報発信していく予定である。一つ目はブログを使っての発信である。具体的な内容としては、慶早戦の企画や塾機の扱い、エール式、新しい応援方法に則った練習、ホームページの活動など、大学の広報部とも調整した上で、ホームページを更新していくことを検討している。資料にリンクが載っているので、時間があれば確認をお願いしたい。

慶援指導部 山本より、資料には無いが3点ほど補足があるとして下記の通り説明がなされた。

一つ目は、4月に活動停止処分が解けて活動再開ができるようになったが、この状況下で応援活動に参加が出来ず、秋季リーグからようやく参加できるようになった。みなさんが時間を割いてくださったおかげであります、本当にありがとうございます。

二つ目は、体制が変わったこともあり、この状況下によって部員の指揮の維持が難航した。慶援指導部としてここまで何もできなかったことを反省する。

三つ目は、我々慶援指導部は塾生と慶應義塾を支えてくださっている人々を応援していきたいということである。三田や日吉の商店街に話を聞いたところ、本当に苦しそうだったし、潰れた店もたくさんある。このご時世だからこそ、今だからこそ我々が力にならないといけない。

慶援指導部は活動するにあたってお金をたくさんもらっている。そんなことから、塾生を応援することは我々の義務である。そこに塾生がいて、集まっているからこそ慶早戦がある。ここに集まっているのは、塾生の中核だと思っている。今までは慶援指導部が独自でやっていたが、オンラインでの応援は難しい。全塾協議会の皆様も、今後こうしてほしいという意見があれば是非言っていただきたい。

塾生代表 後藤圭祐より、下記の通り発言があった。いつも丁寧な活動報告ありがとうございます。感染症対策もしつつ、写真を行いわかりやすい活動報告をしてくれたと思う。こういう状況下で引退試合

が無くなり、無観客になったことで苦しい思いをしている部員もいるし、活動すら許可されない、キャンパスに行くことすら許されない塾生もいる。受験以来一度もキャンパスに行っていない新入生もいる。新しい応援の形を考えないといけないということで忙しいとは思いますが、僕の残りの任期三ヶ月、活動報告を楽しみにしています。頑張ってください。

事務局長 岩館則明より、今回は動画や資料をあらかじめ議員の皆さんに共有した、事務局の方で応援指導部の発言や活動について SNS を通じた発信したいと思うが、団体としてはどうかと質問がなされた。山本は部内でコンセンサスを取りながらお願いしたい、と返答があった。

(9) 文化団体連盟本部 活動報告

文化団体連盟三田本部常任委員会委員長 芹沢幸輝より活動報告が上程され、下記の通り説明がなされた。

定例会を開催、参加団体に関する財務ヒアリング、交付額を決めている段階であり、新歓用のウェブサイトに掲載する資料や情報を作成、参加団体への新歓支援企画、文連のホームページなどを使って独自に発信を行なっている。

(10) 湘南自治会準備会 活動報告

湘南自治会準備会代表 石井柊より活動報告が上程され、下記の通り説明がなされた。木曜または金曜に週1回の定例会を実施、新規事業として有志の新入生が行っている入学式の運営支援、2021年2月を目的に研究会の新歓実施を検討している。また、SFC ファイナルプレゼンテーションの運営を計画中、またホームページのSEO対策、サークルスクエアの回収も検討中である。

塾生代表 後藤圭祐より、入学式のイベントは対面なのかと質問があり、担当者より、対面である旨回答があった。

(11) 四谷自治会 選挙管理委員会に関する議案

四谷自治会会長 保住英希より、選挙管理委員会に関する議案が上程され、保住より説明があった。

後藤代表の任期があと3ヶ月であり、選挙が12月頃に行われると思うが、選挙管理委員会の委員長を決めなければならない、そこで私がやろうと思うので承認をいただきたい。我こそはという方がいれば名乗り出ても構わないと発言した。その上で何かある方はいるかと全体に問いかけた。

塾生代表 後藤圭祐より、次の選挙が迫っている中、保住は議長として大活躍していただいて頭が上がらない、昨年の選挙も手伝っていただいた経験もある、今年はコロナのせいで課題が山積みだが、ぜひ委員長は保住君に託したいと発言があった。

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表は本決議を承認した。

(12) 塾生代表 規約改正の発議

塾生代表 後藤圭祐より規約改正の発議が上程され、後藤より下記の通り説明があった。

退任に際して全塾協議会をより良いものに変えていきたい。大まかに変更したい点としては三つである。

一つ目は全会一致から多数決に変えたい。議員が7人であるため多数決が合理的であろう。1人の反対意見で議論が進むことはリベラル的な意見を出しづらくしている。

二つ目は代交代申請である。今までは議決を取っていたが、基本的に他団体の代交代に反対する人はお

らず、流れ作業になっているため、塾生代表の承認のみで成り立つ簡略的なものにしたい。クリーンで中立的な議会を目指すことが目的である。

三つ目は議長代理について。議長が何等か理由で参加できないことがあった場合、事務局長が議長代理を務めるという形式を想定している。

芝学友会会長 福井より、今回の改正で出来なかったことが可能になることを説明してほしいと意見があった。それに対し後藤は、1人の意見で議案を潰してしまうことは全体のプレッシャーになり、健全な議論の場にならない。改正によって個人の意見が通りやすくなるのではないかと考えると回答した。福井より、なぜ塾生代表が拒否権を持ち続けるのか。後藤から答えを聞きたいと質問がなされ、後藤は、塾生代表は全塾生からの賛同を集めており、皆様も公平的に選ばれていると思う、全塾生から選ばれている私はより強い権力を持っていると回答した。福井は、芝学友会として後藤君は非常に良い人物だと思っているが、今後どのような人物が登場するか不透明なので、その意見では賛同しかねると発言した。

後藤より、誰になろうと全塾生からの賛同を得ているので危険性は少ないだろうと発言があった。

事務局長 岩館は、塾生代表が拒否権を持つという点では今までと変わらないと発言した。福井は、塾生代表だけが拒否権を持っているは、塾生代表の権限が強大になると発言した。事務局長より、代交代を拒否権できる塾生代表の力の場合、今までより権限が強大になると発言したところ、福井は代交代は関係なく、議会の際に塾生代表だけが拒否権限を持つことに問題があると発言した。

後藤は、あくまで今後新たな風を吹かせるためであること、1人だけ多数決制が採用されないことによる弊害もあると思うが、議員1人が拒否権を持つだけで議会が滞ることを考えると改正したほうが良いはずだと発言した。

岩館は議員のみなさんの意見を聞きたいと発言した。

後藤は、多数決制の弊害としては、6人と塾生代表がいいと考えている。しかし、1人だけ反対しているという状況になった場合、その1人の反対によって、残りの人たちの意見が無視されるのは独裁的で民主的とは言えないと述べた。

四谷自治会会長 保住は賛成の姿勢を示し、議員がより良く発言するために良いと思う、全会一致だと何が良くて何が悪かったのか分かりづらくなると述べた。

全国慶應学生会連盟常任委員会委員長 吉田は、多数決に賛成である。議論を活性化させることが目的であるが、相手の顔を見て話す側面が大きくなってしまっている。塾生代表の強権化に関しては、塾生代表は塾生から選ばれているものなので、あんまり関係ないと考える。全会一致の場合も、塾生代表が嫌いな人がいた場合、議案が通らなくなる可能性があるため、関係ないのではないかと発言した。

体育会本部主幹 俣野は、基本的には賛成である、議論の活発化と精神的に他の議員の顔色を伺ってしまうところがあると思う。他の2点についても、議員に比べて塾生代表は塾生全員から認められているという点においても、個人的には許容の範囲だと述べた。

文化団体連盟三田本部常任委員会委員長 芹沢は賛成の姿勢を示し、塾生代表と議員のバランスが取れるようになるのではないかなと思う。議論の活発化が図れるのではないかと発言した。

福利厚生機関本部代表 梅山は賛成の姿勢を示し、議論が活性化することができると考えていると述べ、規約にある通りで大丈夫だとした。塾生代表の権限の云々に関しては、選挙がきちんと規約通りに行われており、正式に選ばれているのであれば許容の範囲内ではないかと考える、権限がなくなれば、塾生代表を設置した意味なども大学側に示すことができなくなるのでこれで良いと述べた。

福井より、多数決制には反対はしていない、力が偏ってしまうと申したが、一つ学友会の方で準備した

提案があり、二人か三人が拒否したら却下というのはどうだろうかと思いを示した。数人の反対であれば、その中に拾い上げる意見が存在するのではないかと考えているがいかがでしょうかと発言した。

後藤は多数決制については反対ではないと既に伺っている、公選議員の話もしたがそれについては今回外した。多数決制の人数についてこの場で判断することはできないが、今回福井の提案を持ち帰り、提案が良いと思えば、それを10月の定例会で一番に提出しようと思うと回答した。

福井は、多数決で議員が決を出した後に、塾生代表が否決する可能性があると思うが、それに関してはどう思うかと質問した。後藤はそれに対し、後日持ち帰って、そちらの方がよくなると思えば、そちらを提案する。私から拒否するという事はないと思うと述べた。福井はその場合、規約改正について可決した後は、塾生代表から内容を変更するインセンティブは働かなくなるのではないかと質問した。それに対し後藤は、それは私個人への信頼の問題にもなると思うが、提案しないとしても次回の議会でどのような考えに至ったのかを公表すると良いと思うと回答した。

福井は他に申したいこととして、会計のシステムと規約が大きく変更した理由について知りたい旨、前文に芝学友会の名前を入れていただきたい旨を述べた。

岩館は、会計のシステムは現行のシステムと実施していることは同じで、それを明記するだけのことで、新しいことを行うというわけではないと回答した。福井が前文に関してはどうかと質すと、岩館は芝学友会の貢献は大きいので、是非入れようと思っていると回答した。

保住は、オンラインが続くと思うが、多数決にするのであれば何かしらオンラインで決を取れるシステムを作っていたらいいと発言した。

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

(13) 塾生代表 2020 年度全塾協議会予算案

塾生代表 後藤圭祐より 2020 年度全塾協議会予算案に関する議案が上程され、後藤は先日協議していただいた予算のことを話したいと思うと発言した。

岩館は、内容について議員の皆さんは全部知っているので金額の確認をしていただければと思うと発言し、後藤より應援指導部、塾生会館運営委員会、三田祭実行委員会、矢上祭実行委員会の順で説明がなされた。

全塾協議会 議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 後藤圭祐は本決議を承認した。

4. 連絡事項

事務局員 張より、次回の日程はまた議事部より連絡しますと発言があった。また福井より、交代承認申請の手順を教えてくださいと発言があり、岩館は団体内で手続きと引き継ぎ、その後交代承認申請を出していただき、宣誓書、同意書などを取り扱う形となる、今後は塾生代表の承認を定例会の前に事前に行い、今まで通り報告と挨拶が議案として出されるようになると回答した。

5. 閉会宣言

事務局長 岩館則明が閉会を宣言し、20:26 に閉会した。